

上のこ山！ 本校の先輩達

【▼大正14年築旧講堂を校庭側から見る】

我らの手で 誇れる体育館を



今夏、本校の体育館は、天井撤去工事と改修工事が行われリニューアルします。現在の体育館は、総事業費2,337万円をかけ、昭和43年2月に竣工しました。今回は、本校の体育館改築にまつわる出来事を紹介したいと思います。

旧体育館は、大正14年に建築された建物でしたが、老朽化や学級数に対する面積不足、また社会体育の利用増加への対応等、教科体育の充実だけでなく地区の体育センターとして整備を望む旨、昭和41年9月25日に町関係者へ陳情が行われました。それは、面積515㎡の旧講堂を、ステージや放送設備等を備える817㎡の広さをもつ体育館改築計画へとつながっていったのです。

当時は、国及び町の補助金等には限界もあり、地元負担金（地元寄附金）も想定されました。昭和41年9月17日開催の自治委員会の場でも、「1割程度の地元負担金が発生しても、この機会に立派な体育館を建築するべし」と議決されています。総事業費2,337万円に対し、地元負担金は約286万円でした。さらに、この地元負担金に加え、内部施設備品整備に特別寄附金が約100万円寄せられ、ステージ幕、暗幕、放送施設、卓球台、バスケットゴール、机椅子等も地元で整備されたのです。

現在の体育館も築後47年が経過しましたが、幾度かの耐震・改修工事を経て、現在まで大切に使われてきました。

また、体育館建築当時、現在の中庭の場所にプール建設構想もあり、あまり東側に寄せることなく従来より広い体育館を建築することから、南北の校舎間の長さを一辺とする正方形に近い形になったようです。西側には校庭が広がっていましたが、校庭をこれ以上狭くすることがないようという願いもあってのことであると記録に残っています。

私の本校在学中に、現在の体育館が竣工しました。小学校3年生の3学期でした。毎日新しい体育館で友達とドッチボールをしていた思い出があります。



【▲旧屋体解体工事】



【▲新屋体建築工事】



【▲新屋体床工事】

【←新屋体を東側から見る】